学校番号	１０１５

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校美術２（日本文教出版）						
副教材等	使用していない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画、立体、デザインなどの実技を伴う「表現」と様々な芸術作品や他の生徒の作品を見て、他の人の感性や考え方を理解する「鑑賞」のふたつの領域を学習する。

・美術を通して何かを感じる力（感受性）、考える力（審美観）、伝える力（表現力）を身につける事をねらいと目標とする。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現に活かすことができる。	美術作品や友人の作品を見て、その良さや工夫した点を理解し、味わうことができる。
評価方法	制作の様子 アイデアスケッチ グループワークの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞中の態度 発言内容 鑑賞レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	自分の名前をデザインす	【デザイン】 ・学校名と姓名を漢字で表し、それぞれの文字を統一したテーマでデザインし表現する。	○	○	○		a:構想の基礎となるテーマ設定の段階で、様々なアイデアを絞り出している。 b:本来の漢字を単純化しながら、選んだテーマに沿うデザインを工夫し表現している。 c:ポスターカラーを使って、効果的な着彩を施している。	学習活動の様子 アイデアスケッチ 制作の様子 作品
	鑑賞レポート	【鑑賞】 夏休みに開催される「高校展」を鑑賞しレポートを書く。	○			○	a: 鑑賞を通じて、作者の意図や表現の工夫、美しさに共感することができる。 d：作品の良さを理解し、文章にまとめることができる。	鑑賞の内容
後期	オリジナルフレーム	【立体】【工芸】【絵画】 ・落ち葉や昆虫、石、枝など自分で集めた自然物を鉛筆と絵具で表現する。 ・ベニヤ板を糸鋸を使って切り取り、楕円の枠を作る。額縁部分にティッシュペーパーで凹凸を作り、乾燥後絵具で着彩する。	○	○	○ ○	○	a：モティーフをよく観察し細部と全体を理解できている。 b:楕円形の紙の中での配置、構図を意識する。 c:絵具の白を使わずに、明るさの表現をする。 d:糸鋸の使い方を理解し、目的の形に切れるように技術を身につけている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	自画像／鉛筆画	【絵画】 ・鏡で自分自身をよく観察し、内面も含めた姿を4つ切り画用紙に鉛筆でバランスよく表現する ・目・鼻・口などの各パーツは手本を参考に描き込みをする。	○ ○	○	○ ○		a：画面の大きさを意識し、顔の輪郭をどこに配置するか、構図をイメージできている。 b:細部と全体を見比べている。 c:鉛筆の特性をよく理解し、画用紙に美しく定着させている。指を使うなどして、全体の立体感をよく出している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	鑑賞レポート	【鑑賞】 1月に開催される「8ブロック展」を鑑賞し、レポートを書く。	○			○	a: 鑑賞を通じて、作者の意図や表現の工夫、美しさに共感することができる。 d：作品の良さを理解し、文章にまとめることができる。	鑑賞の内容
	はめ絵	【デザイン】 ・はめ絵の条件を元にテーマを考え、上質紙に構成する。 ・色鉛筆で着色する	○	○	○		a:条件をよく理解し、各パーツの形態や色彩に工夫をほどこしているか、また全体的な見栄えも考慮されている。 b:感性を活かし構想を練っている。 c：色鉛筆の特性を理解し丁寧な作業ができている。	学習活動の様子 制作の様子 作品